

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱重工業株式会社神戸造船所二見工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

別紙1のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

別紙2のとおり

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
	別紙3のとおり	

環境基本方針

当社は、社是の第一条に「顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する」と明示し、研究開発、生産活動など事業活動を通じて、社会の発展に寄与することを第一義としている。

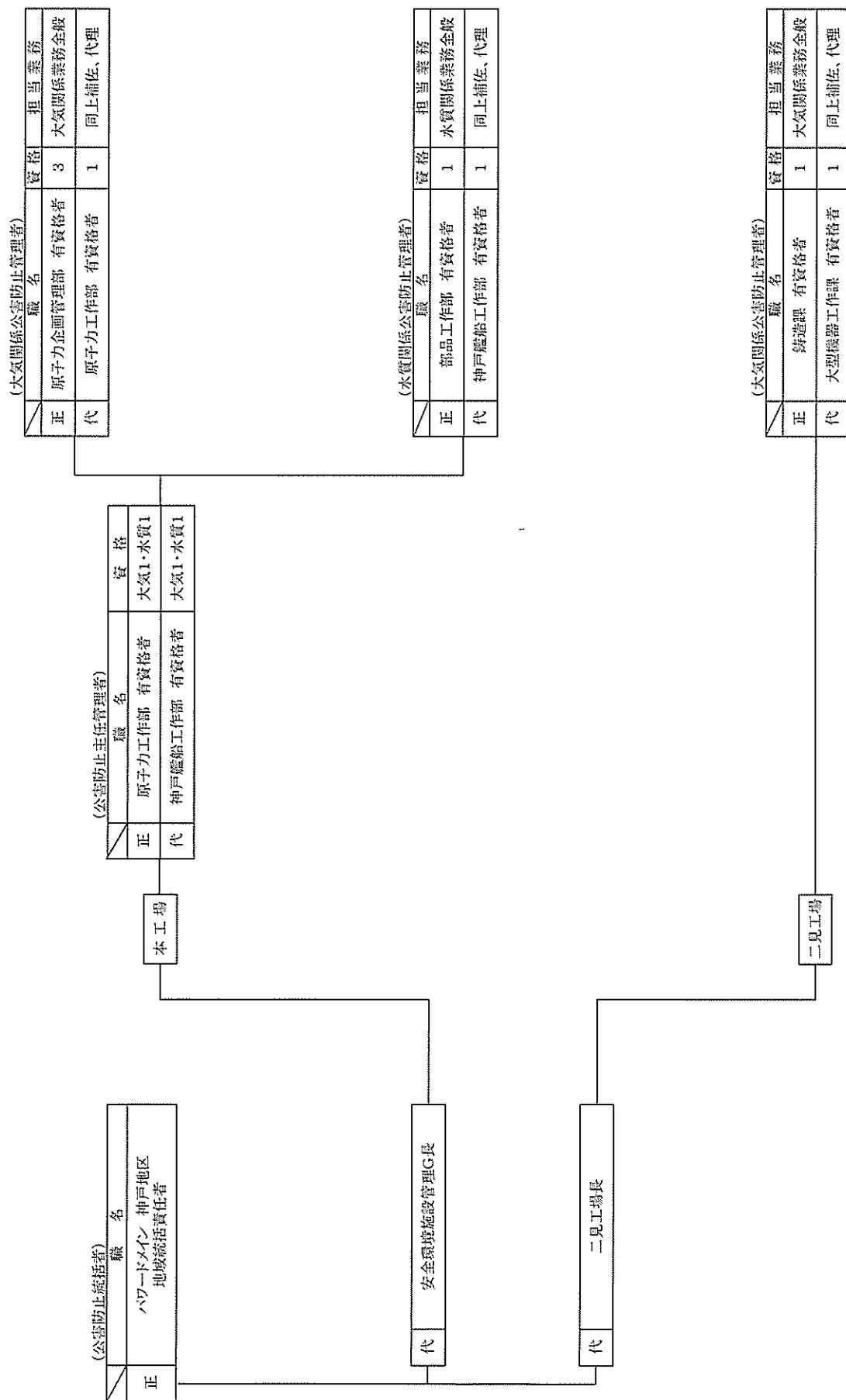
したがって、社業を遂行するにあたっては、企業が社会の一員であることを自覚し、事業活動の全ての領域で、環境への負荷の低減に努めるとともに、当社の総合技術力を結集して環境を保全する技術や製品を開発することにより、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

行動指針

1. 環境保全への取り組みを経営の最重要課題のひとつと位置づけ、全社を挙げて環境の保全と向上に取り組む。
2. 環境保全組織体制、環境関連規程等を整備し、環境保全に関する役割と責任を明確にする。
3. 製品の研究開発、設計、原材料の調達、製造、輸送、使用、サービス、廃棄に至る事業活動の全ての領域で、汚染の防止、省資源、省エネルギー、廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクル等環境への負荷の低減に努める。
4. 環境・エネルギー問題の解決に貢献する高度で信頼性が高く、オリジナリティあふれる技術や製品の開発、提供に努める。
5. 環境関連法規、条例等を遵守するにとどまらず必要に応じて自主基準を定めて運用、評価するとともに、環境目的および目標を設定して、環境保全活動の継続的な改善、向上に努める。
6. 海外の事業活動および製品輸出に際しては、現地の自然・社会環境に与える影響に十分配慮し、環境保全に努めるとともに、海外への環境保全技術協力にも積極的に取り組む。
7. 環境教育等を通じて全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境に関する情報提供等広報活動や社会貢献活動を積極的に推進する。

「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による公害防止組織体制表

別紙2
平成29年4月1日



2017年度神船地区(本工場、二見工場)環境月間実施行事業

三菱重工環境月間にに関する取組みについて、神船地区として以下の通り活動いたしますのでご協力ください。

種別	行事名	対応内容	主催	実施場所	実施状況	対応部門
啓発活動	「環境月間」のポスター啓示掲示	各部門の掲示板に環境月間のポスターを掲示し、環境月間を周知する。	安全管理課	本工場、二見工場	6月中 [完了]	配付・原安施 揭示・各部門
	外部団体主催の講演会	「地球と共生・ひょうごの無い2017」に出席。	ひょうご環境創造協会	兵庫県公館	6月5日 [完了]	原安施
	「環境月間」の立看板設置	本工場の各門及び二見工場の正門前に立看板の設置し、環境月間を周知する。	安全管理課	本工場、二見工場	6月中 [完了]	原安施
PR活動	「環境保全の取組みについて」広報紙にてPR	グローバルアーチ6月号のESG活動を周知する。	本社 環境企画課	本工場、二見工場	6月初日 [完了]	神戸経営G
	全員参加による省エネ活動	各部門で目標を設定し、省エネ活動を実施する。	施設管理部	本工場、二見工場	6月中 [活動継続中]	各部門
省エネ活動	クールビズ活動	革製(ノーホクタイ、ノーアップ)の推奨と冷房時2日目管理	本社 環境企画課	本工場、二見工場	5月～9月 [活動継続中]	各部門
	環境汚染事故の強化	雨天時に雨水溝の点検を実施、 想定している緊急事態に対する訓練を実施する。	安全管理課	本工場、二見工場	2週目～4週目 の雨天時 [活動継続中]	原安施
緊急時対応訓練	緊急時対応訓練	特定施設の仕様、場所が届出通りで変更のないことの確認及び日常管理体制の確認を行う。	各部門	本工場、二見工場	6月中 [完了]	各部門
	公害特定施設等の点検ハトロール	PCB廃棄物の現物確認	安全管理課	本工場、二見工場	6月中 [完了]	取り扱い:原安施 実施・公害防止管理者
その他	環境関連法令の順守徹底	PCB廃棄物を保管庫より、一旦取り出し、漏泄などの異常が無いか全数確認を行う。	安全管理課	本工場、二見工場	6月中 [完了]	原安施
	工場周辺の美化清掃	工場周辺の道路、海、フェンス付近等の清掃。	神戸経営G	本工場、二見工場	本工場:6月20日 二見工場:6月5日 [完了]	DMOS・神戸ビジネスセンター 愛媛F&R・二見サービスG 参加各会員